



〒915-0823
 福井県越前市本町10-2
 親縁山 大寶寺
 TEL/FAX (0778) 22-1682

生かされている私

国外では仏教国のミャンマー(ビルマ)で、軍の治安部隊が僧院に突入し僧侶を拘束し、僧院を破壊しました。また、日本人のジャーナリスト長井健司さんなど一般市民にも少なからぬ死者がました。イラクやアフガニスタンの情勢も一向に改善される様子が見えませんが、

国内とは言えば、インターネットで共犯者を募り通りがかりの女性を殺して金品を奪う。16歳の女の子が斧で父親を殺害するなど、殺伐とした事件が相次いでいます。また、公僕である社会保険庁職員の掛け金横領。あり得ない高配当や使っても減らない円天での買い物などで人を欺いたL&Gなど。道徳や規範意識の欠如、人を騙してでも利益を得ようとする詐欺行為など、嘆かわしいニュースばかりです。

このような世情では、ともすると、不満や不安、怒りや焦りなど否定的な考えや感情に心を支配されがちです。

ところで、秋は収穫の季節です。稲刈りはすでに終わりましたが、大寶寺の境内では今が収穫の時期です。玄関先には丹波栗があります。昨年は雪で折れたために、全く収穫ができませんでしたが、今年は雪で折れなかったために、全く収穫ができませんでしたが、今年はずいぶん実りました。また、昨年は数える程しかならなかった観音堂前の一才柚も豊作です。足元を見れば以外と幸せの種が落ちていているもの

浄土宗のホームページにアクセスしてみませんか。
<http://jodo.or.jp/>



住職



です。

たとえどんなに世の中が荒れようとも、人はさまざまに仏さまの働きかけの中で生かされているという事実には変わりありません。そのことに気づき、感動し、また、感謝することが幸せに生きるコツではないでしょうか。

浄土宗ではミャンマー軍事政権の弾圧に対して抗議の声明文をインターネット上に発信しました。

<http://www.jodo.or.jp/report/myanmah.html>

お別時のご案内

湯尾の浄土寺にて福井教区浄土宗仏教青年会主催の別時念仏会(お別時)が開かれます。みなさんと一緒にお念仏を唱えて心を清めてみませんか。

日時	10月25日(木) 午後7時より1時間半程度
場所	今庄町湯尾62-5 浄土寺
内容	お念仏、礼拝、お話など

浄土寺以外の檀信徒の参加も大歓迎です。費用は無料です。数珠と袈裟があればご用意下さい。

場所がわかりにくいので、ご希望の方は大寶寺に集合の上、車に分乗して浄土寺まで移動します。参加ご希望の方は、6時30分に大寶寺の境内にご集合下さい。

【問い合わせ先】 電話番号 (0778) 22-1682
 携帯電話番号 09097627745

たわわに実った一才柚。普通の柚よりは小振りですが香りでは負けません。

世界平和念仏の日 メール通知サービス 毎月25日に配信中!

毎月25日、正午にみんなでお念仏をとえましょう

かんたんな登録で、法然上人のご法語などから引用したメッセージ等をお届けします。



QRコード

浄土宗は、平成15年1月25日から、毎月25日を「世界平和念仏の日」と決めました。

法然上人のご命日、毎月25日の正午にお念仏をとえたる「世界平和念仏の日」。そのお知らせをあなたの携帯電話やパソコンにEメールで配信するサービスを、今春4月25日から開始しました。登録方法は下記4種類です。ぜひご登録ください!! (いずれの方法も登録後、登録完了のメールが届きます)

- 【登録方法】(24時間受付中) ※問い合わせは平日 AM9:00~PM5:00
- 1、25@jodo.or.jpに空メールを送る。
 - 2、携帯電話で左のQRコードを読み取り、登録フォームで必要事項を入力。
 - 3、浄土宗ホームページ (<http://www.jodo.or.jp>) の「世界平和念仏の日」登録フォームに必要事項を入力。
 - 4、下記「申込先」へのFAXやハガキによる登録も可能。
 ※ 詳しくは浄土宗ホームページをご覧ください。

【お問合せ・お申込み先】 浄土宗宗祖法然上人 800年大遠忌事務局
 〒605-0062 京都市東山区林下町400-8 TEL075(525)0482 FAX075(531)5105

トピックス

第18回 教区子どもの集い

7月30、31日



みんなそろって、本堂でお勤めの練習。
一泊二日でもお経が読めるようになりました。

福井教区浄土宗仏教青年会と児童教化連盟主催の「浄土宗子供の集い」が小学3年から6年までの児童28名が参加して大寶寺にて開催されました。子供たちは勤行、礼拝、清掃などの他にゲームやお話の時間、また、夜には灯火の集いなど一泊二日の日程を楽しく過ごしました。あいにく、7月にしては涼しかったので、プールでの水泳は短時間で切り上げることになりました。短期間でしたが、いろいろの活動を通して友だちができ、再会を約束して散会しました。福井教区の「子供の集い」は、毎年県内の寺院で実施されます。お子様の情操教育のため、ぜひご参加下さい。



10月3日山門の前に越前市と武生観光協会の協力で、大寶寺を紹介する掲示板が設置されました。

総墓参り、旧盆棚

8月10日から17日まで

真夏の炎天のもと8月10日当寺において総墓参りが催されました。引き続き11日から16日にかけて若と住職が旧盆の棚経に廻りました。17日の午後からは湯尾の浄土寺においてお施餓鬼の法要を営みました。連日の猛暑でずいぶん汗をかきました。

秋彼岸会法要

9月21日、23日

9月21日の午後7時から具谷の法林寺にて、また、彼岸の中日の23日の午後2時から大寶寺にて、7時から湯尾の法林寺において彼岸会の法要を営みました。

大林寺お別時参加

9月22日

通称池ノ上の善光寺として知られる浄土大林寺(松本光然上人住職)にて、福井教区浄土宗仏教青年会主催のお別時念仏会があり、大寶寺のお講さんの6名の方が参加し、大林寺の檀信徒と一緒に念仏を称えました。

濁中蓮華

濁った世間に咲く蓮の花の意

布施について

あの笑顔を見せて 僕の大好きな
時を止めてしまふ 魔法みたいにな...

小田和正作詞、作曲 ダイシヨウフ

これは最近終了したばかりのNHKの朝の連続ドラマ「どんど晴れ」のテーマ曲の出だしである。「どんど晴れ」の主人公は岩手県にある加賀美屋という老舗旅館の若女将である。

彼女はさまざまに困難に出会うが常に笑顔をやさず前向きに生きていく。彼女の笑顔は見返りを期待する作り笑いでもなければ、訓練による様式化された習性でもない。真心は必ず相手に通じるという人間に対する信頼感の表れだ。不思議な笑顔の魅力で、夏美は人々の心を開いていく。彼女の笑顔に触れた人は彼女が幸運をもたらす座敷童子だという。

ところで、仏教の見方ではこのような夏美の笑顔は、布施行のひとつ顔施に他ならない。また、座敷童子ではなく、大きな慈悲の心で一切衆生の救済を誓った観世音菩薩の働きかけが、夏美の笑顔の中に表れていると、とらえることになる。

合掌



垂れ桜の下に咲く曼珠沙華 H19.10.4

布施は最近では、もっぱら僧侶に対する謝礼と思われているが、本来は六波羅蜜(仏道に励むものが心がけるべき行い)のひとつである。布施には金品などを提供する財施の他に、無財のものがある。たとえば顔施と言施がそうだ。顔施とは和やかな表情、すなわち笑顔で人に接すること、また、言施とは思いやりをもって、優しく語りかけることである。和顔愛語とはこのような無財の布施のことだ。また、布施の「布」は広く行きわたることを意味する。つまり、布施は分け隔てなく皆に施すべきものだ。さらに、布施は慈悲の心の実践でもある。慈悲はものごとくに執着することを戒める。喜捨、すなわち自ら進んで与えるというのが布施の本来のあり方である。